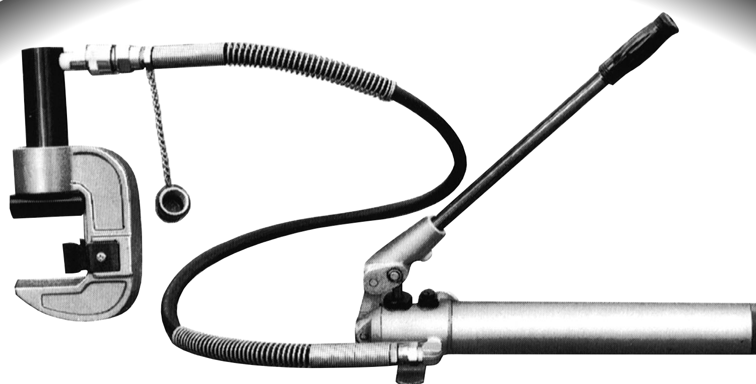
手動油圧式の仮止水用
パイプ圧着器

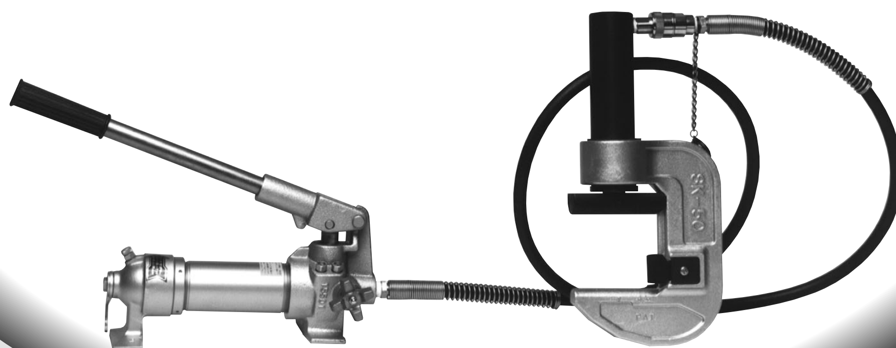
SK-30
SK-50

取 扱 説 明 書



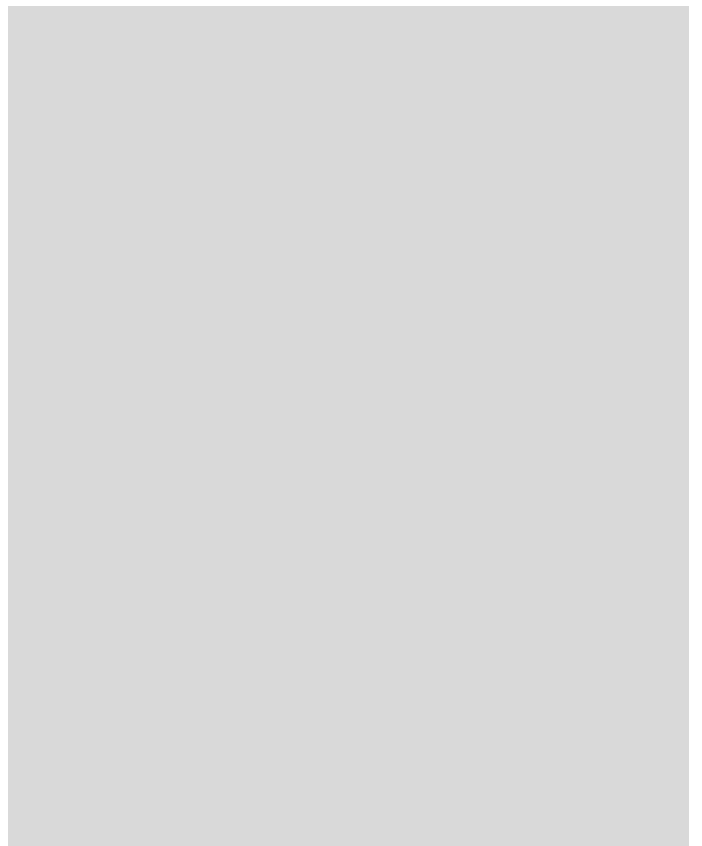
SK-30

SK-50

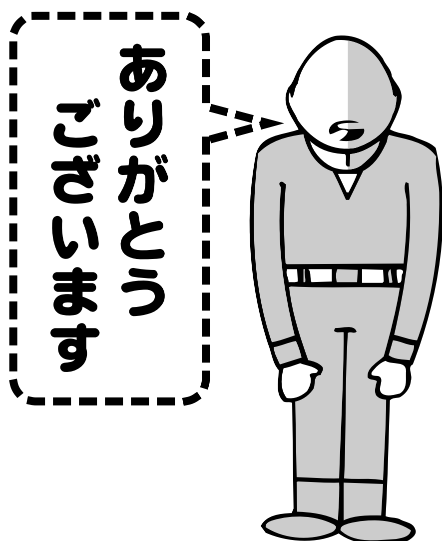


管路システムのサポートメーカー
フジテコム

目　次



ごあいさつ



このたびは、パイプ圧着器（SK-30，SK-50）をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございました。

本書はパイプ圧着器の取扱いについて記載した説明書です。

本書には、操作手順、作業方法とその他について、記載されておりますので本器をご使用の前には、必ずこの取扱説明書をお読みになり、取扱い内容を正しくご理解の上、本器をご使用下さい。

取扱い上にてご不明な点、あるいは本器に関してのご質問は弊社までご連絡下さい。
「取扱説明書」は本器をご使用になる方が、いつでもご利用できる所に保管して下さい。

なお、「取扱説明書」を紛失した場合は弊社までご連絡下さい。



用　途

本器は、鉛管、塩ビ管、ポリ管を対象に管の敷設、取り替え工事や管の損傷事故等による、応急的な仮止水に使用します。

ご注意

注意1　**高圧ホースに傷を付けないよう注意して下さい。**

注意2　**ホースをもって移動しないで下さい。外れると危険です。**

注意3　**カップラーに皮膚や衣服を挟まれないようにして下さい。ケガ等の原因となります。**

注意4　**圧着部に指や足を入れて圧力をかけないで下さい。ケガの原因となります。**

注意5　**圧着させる時、圧着部がパイプより外れないように確認して下さい。足等に落ちると危険です。**

注意6　**作業時は、ホースをたるませる様にポンプを置いて下さい。**

注意7　**圧着部を加圧状態で高圧ホースを外したり、カップラーをいじらないで下さい。オイルが高圧で飛び出す危険があります。**

注意8　**保管する時は、棚の上や他の機材の上に重ねて置かないで下さい。上に置くと落ちて大変危険です。**

注意9　**作業終了時は、シリンダー部のゴミ、泥をきれいに清掃して下さい。ゴミ、泥等でシリンダーが動かなくなります。**

注意1 パイプを所定の位置以外の位置で圧着しないで下さい。
シリンダロッドに無理な力が加わり破損することがあります。

注意2 圧力調整バルブは、お客様のご判断で絶対に調整しないで下さい。
加圧時（圧着時）に設定圧を超えると本器の何らかの部位が破損し、思わぬ怪我をする場合があります。

注意3 ワンタッチカップラーは、圧着部とポンプ部とを分離させた時には必ずキャップを付けて下さい。ここからゴミやホコリが入り故障の原因になります。

注意4 圧着器を持ち運ぶ時は、ホースを持たないで下さい。ホースは折れ曲がったりすると、そこが割れて油漏れを起こす場合があります。

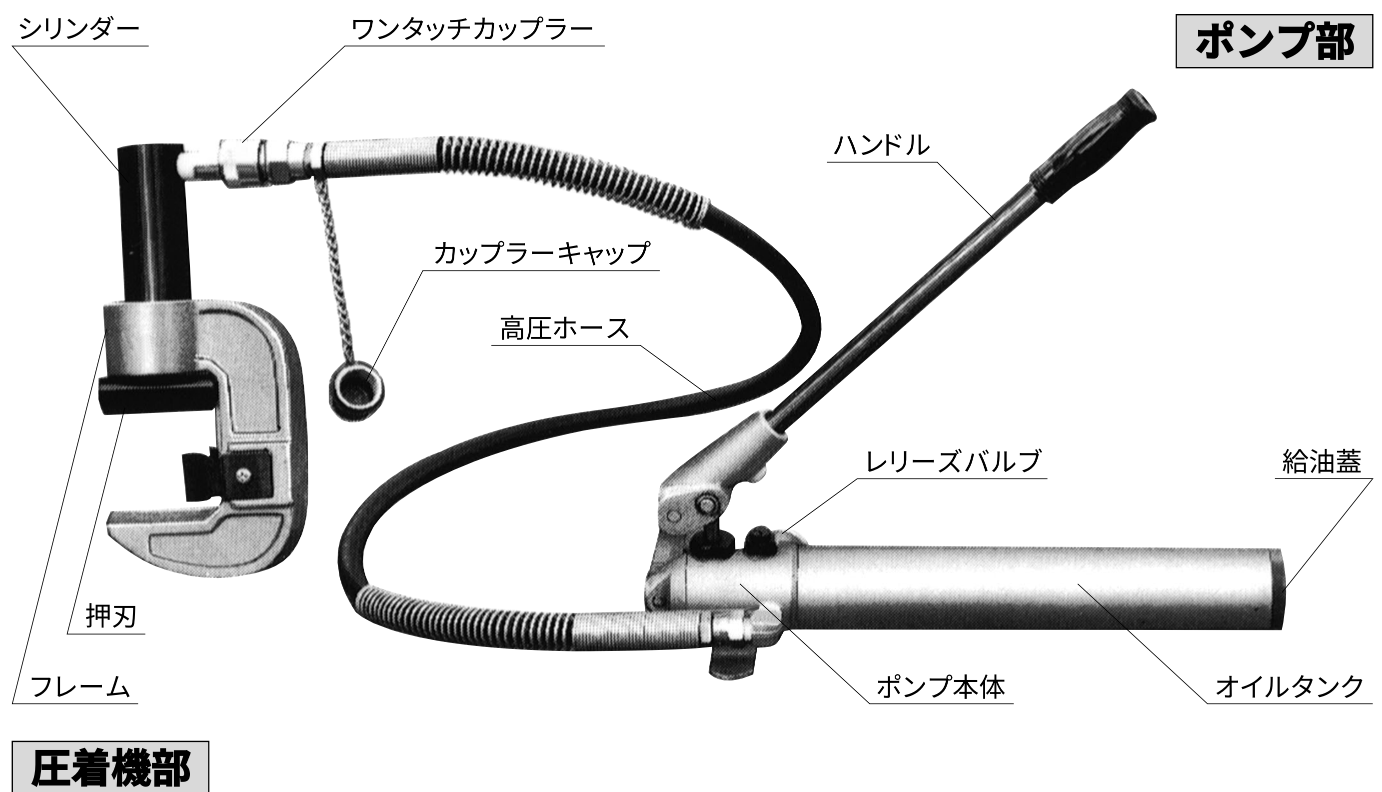
注意5 圧着器の傍で溶接作業等を行なわないで下さい。
ホースが破損したりします。

注意6 ポンプを横倒しにして、加圧しないで下さい。エアーベントより油が流出します。

機器の構成と各部の名称

SK-30

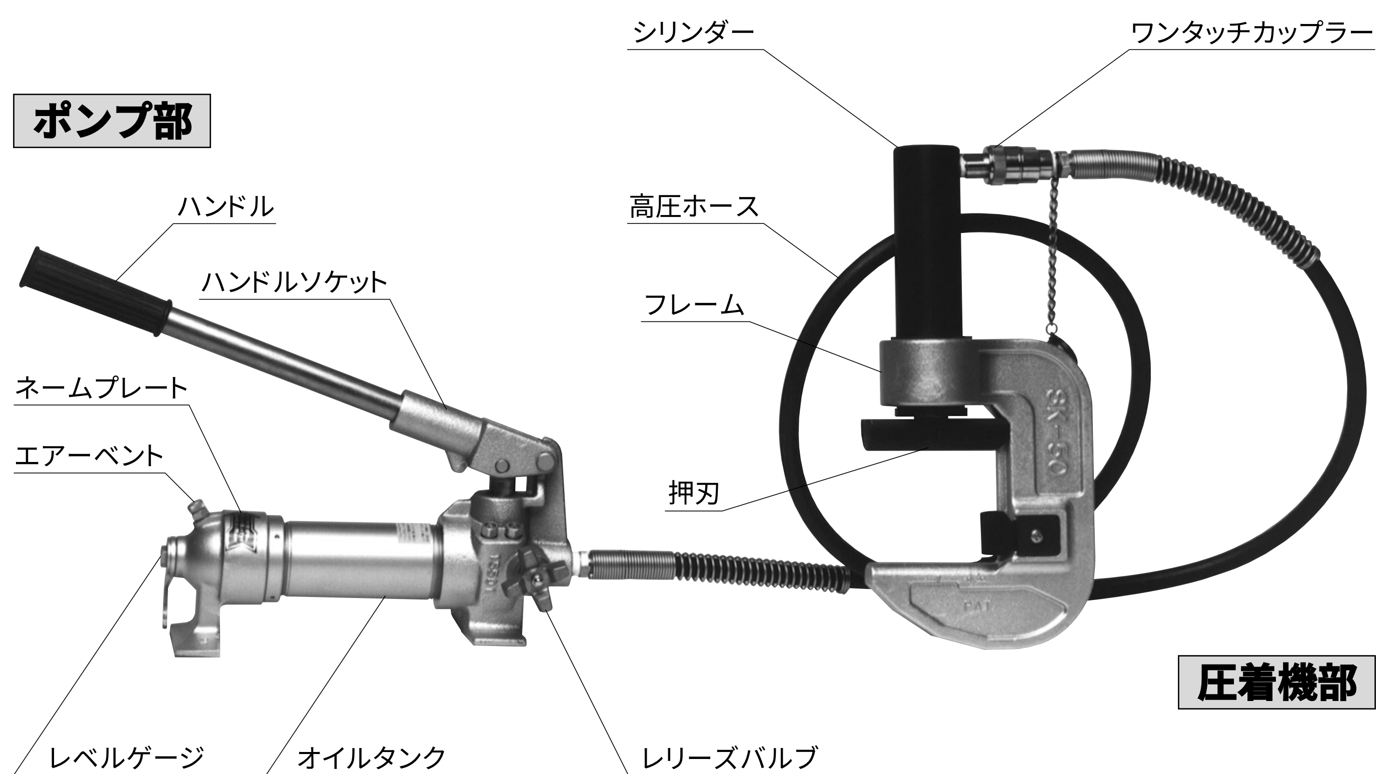
30mmまでの塩ビ管・ポリ管・鉛管用



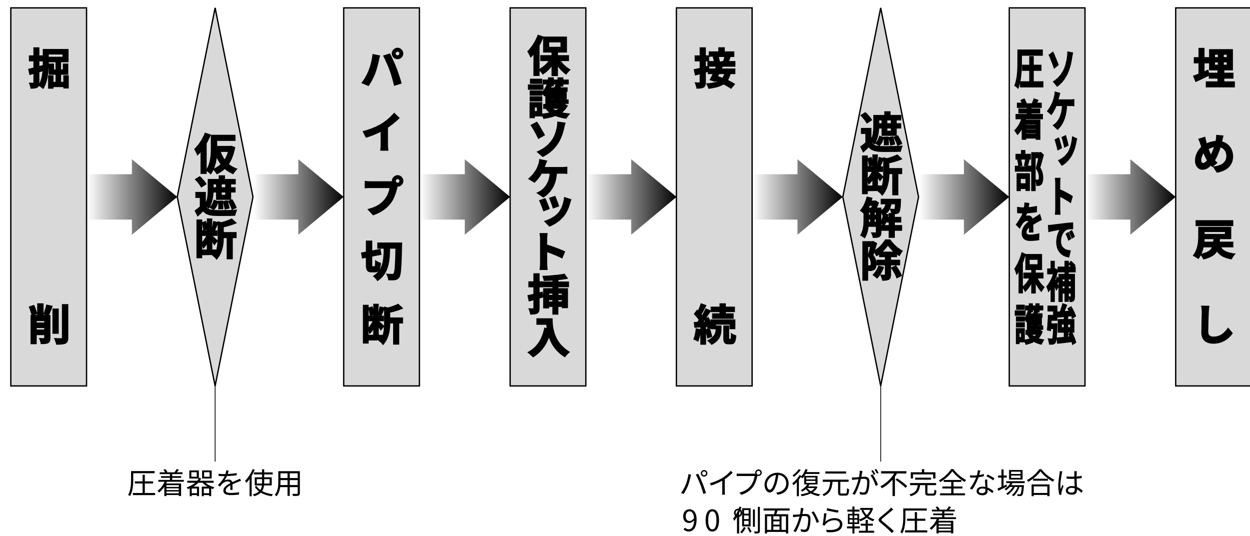
機器の構成と各部の名称

SK-50

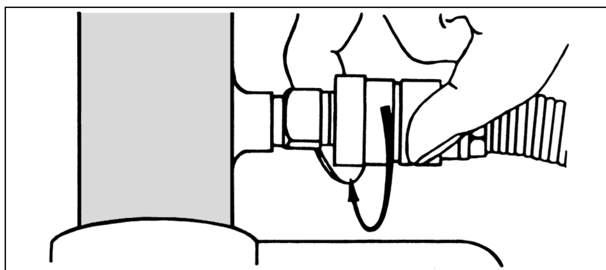
50mmまでの塩ビ管・ポリ管・鉛管用



作業例



操作手順

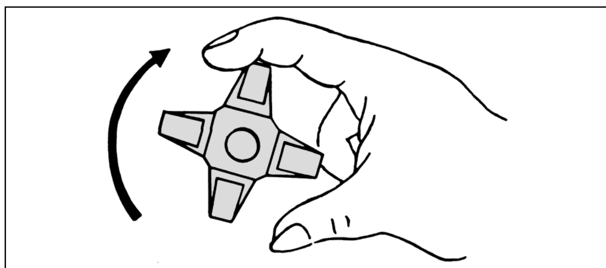


1 圧着部とポンプ部をカップラーで接続します。

注意

1. カップラーの接続は、工具を使用せず手でしっかり締めて下さい。
2. カップラーの接続が悪いと、圧着後に押刃が戻らなくなることがあります。
3. カップラー部に、砂利やホコリが付着すると故障の原因となります。

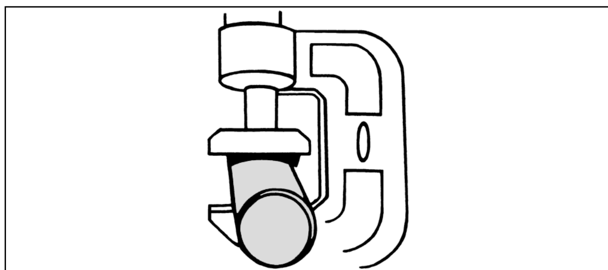
カップラーの脱着時には、特に注意して下さい。



2 レリーズバルブを右に（閉方向）締めます。

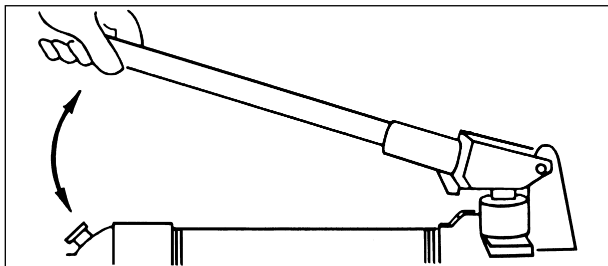
注意

1. レリーズバルブを強く締め過ぎると、中のベアリングに無理な力が加わり、故障の原因となります。
開閉は半回転の範囲で行なって下さい。
2. レリーズバルブは、絶対に分解しないで下さい。



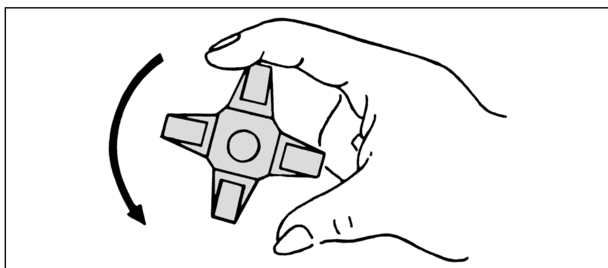
3　圧着器部をパイプにセットします。

注意
1. 圧着するパイプはフレームの中心（シリンダー軸の中心）に合わせて下さい。
2. 中心を外して圧着すると、シリンダー軸に無理な力が加わり故障の原因となります。



4　ハンドルを上下するとポンプが作動して、圧着器部の押刃が下がりパイプが圧着されます。

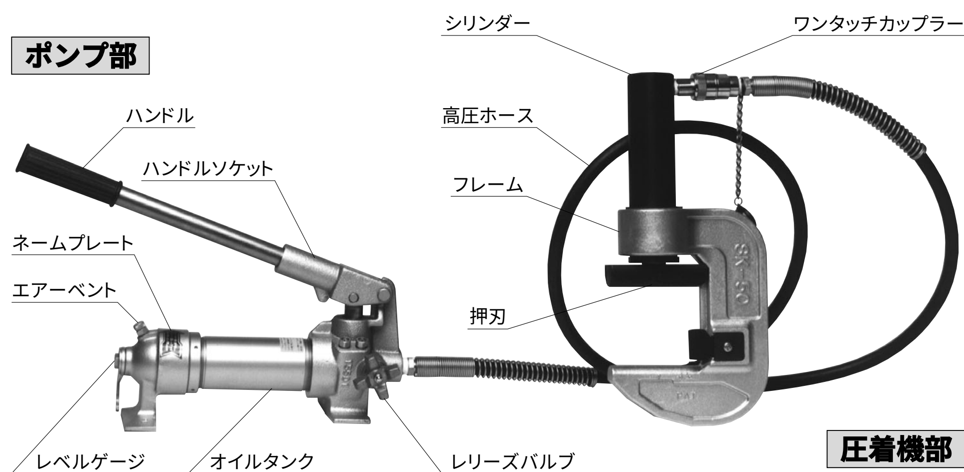
注意
止水後は圧着しないで下さい。



5　レリーズバルブを左に（開方向）緩めると、圧着は解除されます。

注意
ポンプの圧力は、700kgまで上ります。塩ビ管の場合50Aで600kg、そのほかのパイプは、あまり力を入れ過ぎないようにして下さい。

ポンプ部



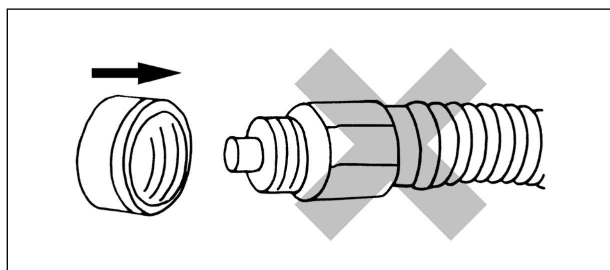
オイルの補給



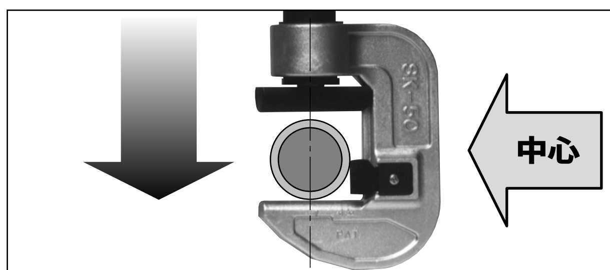
1 圧着効率が落ちたら、オイルの補給が必要です。

2 補給は、レベルゲージを外して市販のマシンオイル（コスモマシン10M）相当品をオイルゲージの範囲で給油して下さい。

取扱いの注意

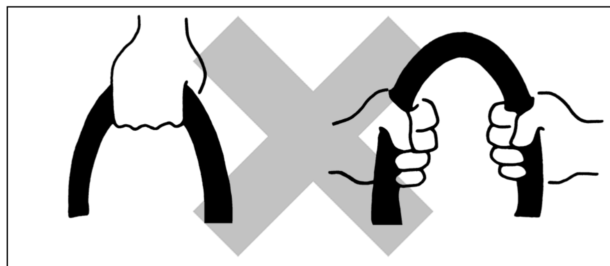


注意1 **カップラーを圧着部から外して、必ずキャップを付けて下さい。カップラーからホコリやゴミが入ると、ポンプの故障の原因となります。**

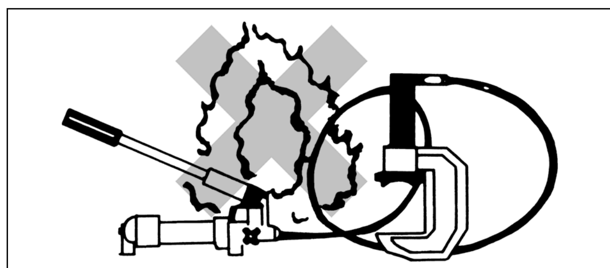


注意2 **圧着するパイプは、圧着部の押刃の中心に位置し、2点に軽く接触するように直角に加圧して下さい。**

ポンプ部



注意3 **ホースは、外力に対して傷みやすいので注意して下さい。**
ポンプを持ち運ぶときに、ホースを持ったり極端に曲げて使用しないで下さい。



注意4 **ポンプ，高圧ホースには、溶接等の熱はさけて下さい。**

注意5 **圧着する場合は、エアーベントを開き、使用後は必ず閉めて下さい。オイルが漏れる恐れがあります。**

トラブルシューティング

現　象：油漏れ

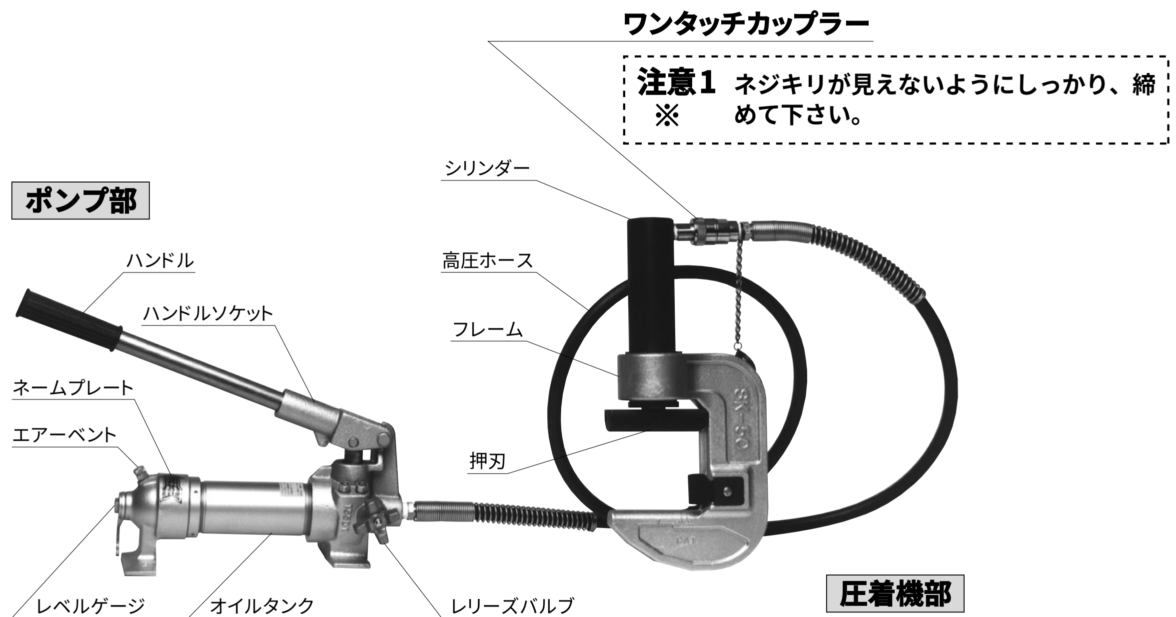
確認内容	説明・対処方法
シール部からにじむ様に油が漏れている場合	経年劣化等により圧着部の性能が低下している場合があります。各シール部を交換下さい。 ※お客様が独自にシール部を分解・組立され、バックアップリング破損している場合があります。出来るだけ、シール部品の交換はメーカーにご依頼下さい。
油圧作動油は指定外のものを使用していませんか？	流動性、温度特性等、指定のものと異なる場合、油が漏れる場合があります。必ず、指定のものをご使用下さい。
ポンプ部のエアーベントを開いたまま、ポンプを横倒しにしていませんか？	エアーベントは収納時に閉めて下さい。

困った時に

機械が新しいのに調子が悪い時は････

◆症状：圧着後押刃がもとに戻らない

> **注意1 ※　ワンタッチカップラーがしっかり締まっていますか？**
>
> **この部分がしっかり締まっていないと圧着後エアーを抜いても、もとに戻りにくくなります。一旦外してから再度締め直して下さい。**



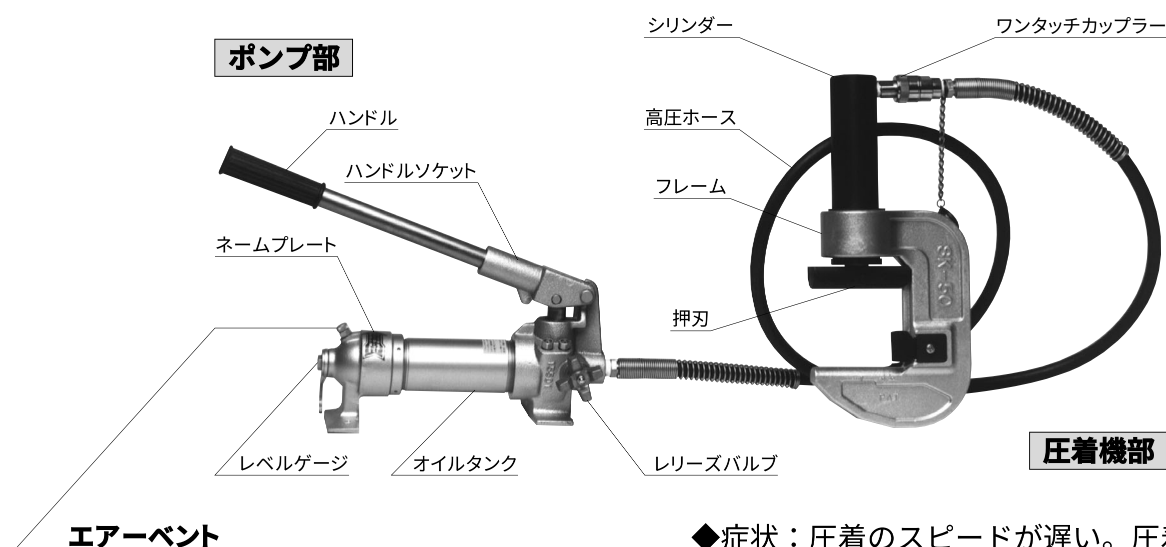
トラブルシューティング

現　象：押刃が戻らない

確認内容	説明・対処方法
押刃が戻らない	経年劣化により、スプリングの反発力が低下している場合があります。 スプリングを新規品と交換して下さい。
カップラーが「オス・メス」完全に締め付けられていますか？	不完全ですと押刃が戻りません。レリーズバルブを緩め、カップラーを締め付け直して下さい。
2年以上オーバーホールを怠っていませんか？	圧着部のシール部に土やゴミ等の異物が固着し、堆積していき、押刃の戻りを妨げる場合があります。年に2度以上オーバーホールを実施下さい。

困った時に

機械が新しいのに調子が悪い時は・・・・



注意2 ※ 圧着時は必ず緩めて下さい。
圧着後は必ず締めて下さい。

◆症状：圧着のスピードが遅い。圧着しにくい。

注意2 ※ **圧着時にはエアーベントを緩めていますか？**

圧着時にはエアーベントは必ず緩めて下さい。エアーが残っていますと圧力が、かかりにくくなります。
使用後は必ずエアーベントは締めて下さい。

トラブルシューティング

現　象：圧着が出来ない

確認内容	説明・対処方法
カップラーが完全に締め付けられていますか？	不完全ですとポンプ部から圧着部へ送油されません。 レリーズバルブを緩めて、締め付け直して下さい。２年に一度以上は点検・オーバーホールを実施下さい。
手動ポンプの油圧作動油の量は適正ですか？	少ない時は勿論のこと、多くても圧着部へ送油しません。 適正量になるよう調節して下さい。
油圧作動油は指定のもので、かつ清浄なものを使用していますか？	油の清浄性は当然のことですが指定外のものは流動性等が異なり、ポンプ内各弁体が正常に動作しなくなる場合があります。必ず指定のものをご使用下さい。
点検・オーバーホールを２年以上怠っていませんか？	正規の使用を行なっていても、油の劣化、異物の混入、内部の異物の堆積等で正常に作動しなくなることがあります。２年に一度以上は点検・オーバーホールを実施下さい。

SK-30

30Aまでの塩ビ・ポリ・鉛管用

●手動ポンプ部

設定圧力	68.6MPa(700kgf/cm^2)
有効油量	200cc
吐出量	高圧 1cc
ピストン直径	高圧 φ9
作動油	コスモオイルパス32
全長／重量	370mm／39.2N(4.0kgf)
高圧ホース長さ	1200mm

●圧着部

圧着可能径	30A
圧着力	2.3ton
ストローク	53mm
表面処理	シルバー塗装
全長／重量	260mm／27.4N(2.8kgf)

SK-50

50Aまでの塩ビ・ポリ・鉛管用

●手動ポンプ部

設定圧力	68.6MPa(700kgf/cm^2)
有効油量	220cc
吐出量	高圧 1cc、低圧 5cc
ピストン直径	高圧 φ9、低圧 20.5
作動油	コスモオイルパス32
全長／重量	435mm／59.8N(6.1kgf)
高圧ホース長さ	2000mm

●圧着部

圧着可能径	50A
圧着力	3.7ton
ストローク	81mm
表面処理	アルマイト
全長／重量	370mm／44.1N(4.5kgf)

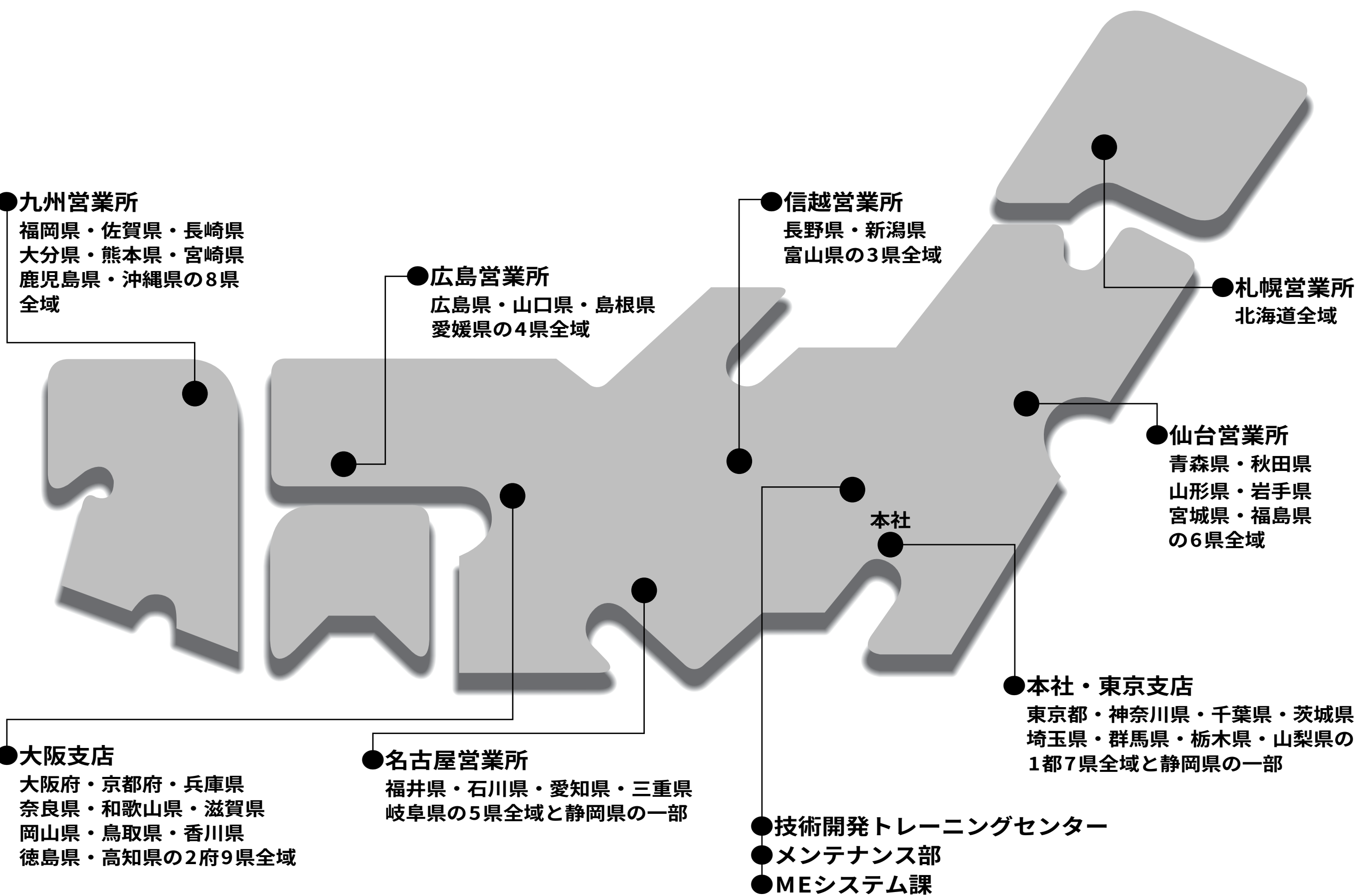
フジ全国サービスネットワーク

弊社では、機器をいつでも最良の状態にてご使用して頂くため、**巡回メンテナンス**を実施しております。
フジテコムの営業担当員は通常の営業活動に加え、既にご使用頂いている機器の簡単な保守点検等の指導も行っています。
巡回メンテナンスのお申込窓口は、最寄りのフジテコム各支店・営業所までお問い合わせ下さい。

アフターサービス

メンテナンス部：全国のお客様を対象に、**定期巡回メンテナンスを実施、機器の指導・点検修理**を行っています。

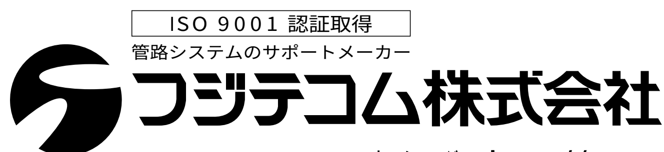
支店・営業所：フジテコムの営業マンは、通常の営業活動はもちろん、すでにご使用いただいている機器の簡単な修理、活用方法などの指導も行っています。



技術開発トレーニングセンター

弊社では機器を効率よく安全にご使用頂くため全国のお客様を対象に**技術開発トレーニングセンター内のテストコース**にて**機器の取扱いのご指導**をさせて頂いております。お気軽にご利用下さい。

トレーニングセンターのお申込窓口は、最寄りのフジテコム各支店・営業所までお問い合わせ下さい。



ホームページ：http://www.fujitecom.co.jp/

本　　　社	〒101-0024	東京都千代田区神田和泉町1-3-1（三恵ビル） ☎(03)3862-3196　FAX(03)3866-1979
東京支店	〒101-0024	東京都千代田区神田和泉町1-3-1（三恵ビル） ☎(03)3865-2960　FAX(03)3865-2964
大阪支店	〒530-0047	大阪市北区西天満3-13-18（島根ビル） ☎(06)6362-6755　FAX(06)6362-6759
九州営業所	〒812-0007	福岡市博多区東比恵3-4-2（ZS福岡ビル） ☎(092)474-3225　FAX(092)474-3894
仙台営業所	〒980-0014	仙台市青葉区本町1-12-12（山万ビル） ☎(022)222-2011　FAX(022)261-2497
名古屋営業所	〒461-0004	名古屋市東区葵3-23-7（千種ファーストビルN） ☎(052)933-4891　FAX(052)933-4894
札幌営業所	〒003-0029	札幌市白石区平和通10丁目北7-37 ☎(011)864-9511　FAX(011)864-9507
広島営業所	〒732-0052	広島市東区光町2-12-10（日宝光町ビル） ☎(082)261-0939　FAX(082)261-0948
信越営業所	〒380-0805	長野市柳町2056（柳町ビル） ☎(026)232-3521　FAX(026)232-2197
MEシステム課	〒352-0011	埼玉県新座市野火止8-6-16 ☎(048)482-8777　FAX(048)489-3456
技術開発・トレーニングセンター	〒352-0011	埼玉県新座市野火止8-6-16 ☎(048)479-0581　FAX(048)479-0584
テレホン技術サービス		☎(048)479-0583